



おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかな子 こころあたたかな子

この夏、自らの課題に挑戦！

～がんばりポイントは人それぞれ～

早いもので、夏休みが目前に迫ってきました。一学期、学校では、様々な場面で子どもたちがいきいきと活動する姿を目にすることができました。来校されたお客様からも、「いい活動ですね」「落ち着いて授業を受けていますね」などのおほめの言葉をいただいています。



さて、一学期を振り返って、みなさんは自分が頑張ったことやもう少し努力が必要なことを、自分で言うことができますか？ 夏休みは、これまでの生活や学習を見つめなおすとともに、日頃できないことにじっくり取り組める絶好の機会です。長い休みに入る前に、ぜひおうちの方と「得意なことや頑張ったこと」と「苦手なことや努力が必要なこと」について話し合い、この夏の「がんばりポイント」を決めてほしいと思います。

そこで大事ななのは、「もうちょっとがんばったらできそうだな…」というところに目標を設定することです。あまりにも高い目標だとやる気が持続せず、目標倒れになってしまいます。また、すでにできているものでは成長につながりません。「ひらがなとカタカナをかんぺきにしよう」「九九が言えるようになろう」「起きる時間を決めよう」「5冊以上本を読もう」「時間を決めて宿題をする」など、どんなことでもいいので、地道に挑戦し「やり切った」と言える達成感や成功体験を積み重ねることが大切です。小さなチャレンジや小さな成功の積み重ねは、やがて大きな自信につながっていきます。困難なことがあっても、工夫しながらしなやかに乗り越えていく力の基礎を、ぜひ学齢期に育ててほしいと思います。



一学期の間、保護者の皆様・地域の皆様には、体験活動や安全な登校に関してたいへんお世話になり、ありがとうございました。家庭や地域で過ごす時間が長い夏、引き続き子どもたちへの温かい支援をお願いいたします。

～戦後80年、平和について考えよう～

戦後80年を迎える本年。6月23日、沖縄慰霊の日のニュースを見た人も多いのではないのでしょうか。1945年、沖縄での壮絶な戦いの後、8月6日には広島、8月9日には長崎に原子爆弾が落とされ、日本はようやく8月15日に終戦を迎えました。

悲しいことですが、今も世界で戦争が起こっています。二度の大戦から学んだことは「戦争のむなしさ」と「平和の大切さ」、そして「命の大切さ」だったはず。私たちは、世界情勢に関心をもちつつ、身近なところから平和を実現していきたいと思います。

守山市民運動公園内には、核兵器廃絶と恒久平和を願うため、「平和の祈り像」、「広島被爆石」、「長崎被爆二世の柿の木」の3つのモニュメントが設置されています。8月6日の「平和を誓うつどい」には、本校からも児童の代表が参加します。



環境 JRC 委員会

6月24日、集めたプルタブを守山市赤十字奉仕団さんにお渡ししました。